

# 学術会議、政府に猛反発

## 総会で説明の法改正案「拒否」に近い

日本を代表する科学者の組織「日本学術会議」の会員の選び方をめぐり、政府と学術会議が対立を探めてくる。17日で開かれた会議の総会で、政府側が「透明性を高めるため」に第三者を開設させる学術会議法改正案の内容を説明するが、会議側からは「独立性が損なわれる」と皮肉や批判が続出した。会議側は18日の総会で対応を協議する。

## 海外の学者も憂慮表明

学術会議の総会で、内閣府の幹部が、今国会への提出を検討する法改正案の内容について説明した。現在、学術会議の会員は会員の推薦を受け、首相が任命する仕組みだ。改正案は、学術会議以外

現会員らによる推薦と、外の人にによる推薦

意見

選考委員会

選考

会員候補者(案)

学術会議が首相に推薦

首相が会員に任命(105人)

学術会議の総会で、内閣府の幹部が、今国会への提出を検討する法改正案の内容について説明した。現在、学術会議の会員は会員の推薦を受け、首相が任命する仕組みだ。改正案は、学術会議以外

現会員らによる推薦と、外の人にによる推薦

意見

選考委員会

選考

会員候補者(案)

学術会議が首相に推薦

首相が会員に任命(105人)

日本を代表する科学者の組織「日本学術会議」の会員の選び方をめぐり、政府と学術会議が対立を探めてくる。17日で開かれた会議の総会で、政府側が「透明性を高めるため」に第三者を開設させる学術会議法改正案の内容を説明するが、会議側からは「独立性が損なわれる」と皮肉や批判が続出した。会議側は18日の総会で対応を協議する。

## 時刻

2020年10月1日	菅義偉首相に上る会員候補6人の任命拒否が発覚
2日	学術会議が、任命しない理由の説明と6人の任命を求める要望書の提出を決定
12月11日	自民党プロジェクトチーム(P.T.)が学術会議を政府から独立させることが望ましいとする提言を提出
2021年4月22日	学術会議が8人の即時任命を求める声明。自己改革案を公表
10月4日	菅首相が退陣し、岸田文雄内閣が発足
2022年12月6日	学術会議の改革の方針を公表。国連開発署として残す一方、会員選出者に第三者を開設させる内容。通常議の会員が決める。内閣府
21日	学術会議総会で法制化の再考を求める声明を全会一致で決議
2023年2月14日	歴代会長5人が岸田首相に対し、法改正に再考を求める声明
19日	ノーベル賞受賞者ら8人が連名で、法改正に「熱慮を求める」声明

日本学術会議の任命拒否と組織改革をめぐる経緯

菅義偉首相に上る会員候補6人の任命拒否が発覚

学術会議が、任命しない理由の説明と6人の任命を求める要望書の提出を決定

自民党プロジェクトチーム(P.T.)が学術会議を政府から独立させることが望ましいとする提言を提出

学術会議が8人の即時任命を求める声明。自己改革案を公表

菅首相が退陣し、岸田文雄内閣が発足

学術会議の改革の方針を公表。国連開発署として残す一方、会員選出者に第三者を開設させる内容。通常議の会員が決める。内閣府

学術会議総会で法制化の再考を求める声明を全会一致で決議

歴代会長5人が岸田首相に対し、法改正に再考を求める声明

ノーベル賞受賞者ら8人が連名で、法改正に「熱慮を求める」声明

一連の問題のきっかけは、2020年秋、当時の菅義偉首相が、学術会議が、任命しない理由の説明と6人の任命を求める要望書の提出を拒否したことによる。会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

## 第二回人事介入の可能性

一連の問題のきっかけは、2020年秋、当時の菅義偉首相が、学術会議が、任命しない理由の説明と6人の任命を求める要望書の提出を拒否したことによる。会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

日本は「政府が介入する」と「明確性の確保が最低限必要」と、選考プロセスに外部の有識者が関与することへの理解を求めた。「制度的な透明性の確保ができないこと、学術会議が、任命しない理由の説明と6人の任命を求める要望書の提出を拒否したことによる。会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

論議の対象については、会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

## 独立性の意義守れ

日本学術会議は、学術会議は、政府からの独立性が確立されたことを示す。背景には、学術会議が、改めて開催された。

日本学術会議は、学術会議は、政府からの独立性が確立されたことを示す。背景には、学術会議が、改めて開催された。

日本学術会議は、学術会議は、政府からの独立性が確立されたことを示す。背景には、学術会議が、改めて開催された。

日本学術会議は、学術会議は、政府からの独立性が確立されたことを示す。背景には、学術会議が、改めて開催された。

## 視点

日本学術会議は、学術会議は、政府からの独立性が確立されたことを示す。背景には、学術会議が、改めて開催された。

日本学術会議は、学術会議は、政府からの独立性が確立されたことを示す。背景には、学術会議が、改めて開催された。

日本学術会議は、学術会議は、政府からの独立性が確立されたことを示す。背景には、学術会議が、改めて開催された。

日本学術会議は、学術会議は、政府からの独立性が確立されたことを示す。背景には、学術会議が、改めて開催された。

日本学術会議は、学術会議は、政府からの独立性が確立されたことを示す。背景には、学術会議が、改めて開催された。

日本学術会議は、学術会議は、政府からの独立性が確立されたことを示す。背景には、学術会議が、改めて開催された。

日本学術会議は、学術会議は、政府からの独立性が確立されたことを示す。背景には、学術会議が、改めて開催された。

日本は「政府が介入する」と「明確性の確保が最低限必要」と、選考プロセスに外部の有識者が関与することへの理解を求めた。「制度的な透明性の確保ができないこと、学術会議が、任命しない理由の説明と6人の任命を求める要望書の提出を拒否したことによる。会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

日本は「政府が介入する」と「明確性の確保が最低限必要」と、選考プロセスに外部の有識者が関与することへの理解を求めた。「制度的な透明性の確保ができないこと、学術会議が、任命しない理由の説明と6人の任命を求める要望書の提出を拒否したことによる。会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

日本は「政府が介入する」と「明確性の確保が最低限必要」と、選考プロセスに外部の有識者が関与することへの理解を求めた。「制度的な透明性の確保ができないこと、学術会議が、任命しない理由の説明と6人の任命を求める要望書の提出を拒否したことによる。会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。

日本は「政府が介入する」と「明確性の確保が最低限必要」と、選考プロセスに外部の有識者が関与することへの理解を求めた。「制度的な透明性の確保ができないこと、学術会議が、任命しない理由の説明と6人の任命を求める要望書の提出を拒否したことによる。会員は「論議の意見を尊重しなければならない」と定めている。